

# ケーブル2本で お手軽ハイフレックス

2022.3.22

工学部工学力教育センター

# ハイフレックス授業時の設営（概略）

- ① AVラックから出ている【講義室音声配信用プラグ】をパソコンのマイク端子につなぐ。

赤白→ミニプラグケーブル

→講義室のマイク音声クリアにzoomにのる。

- ② AVラックとパソコンをHDMIケーブルでつなぐ。

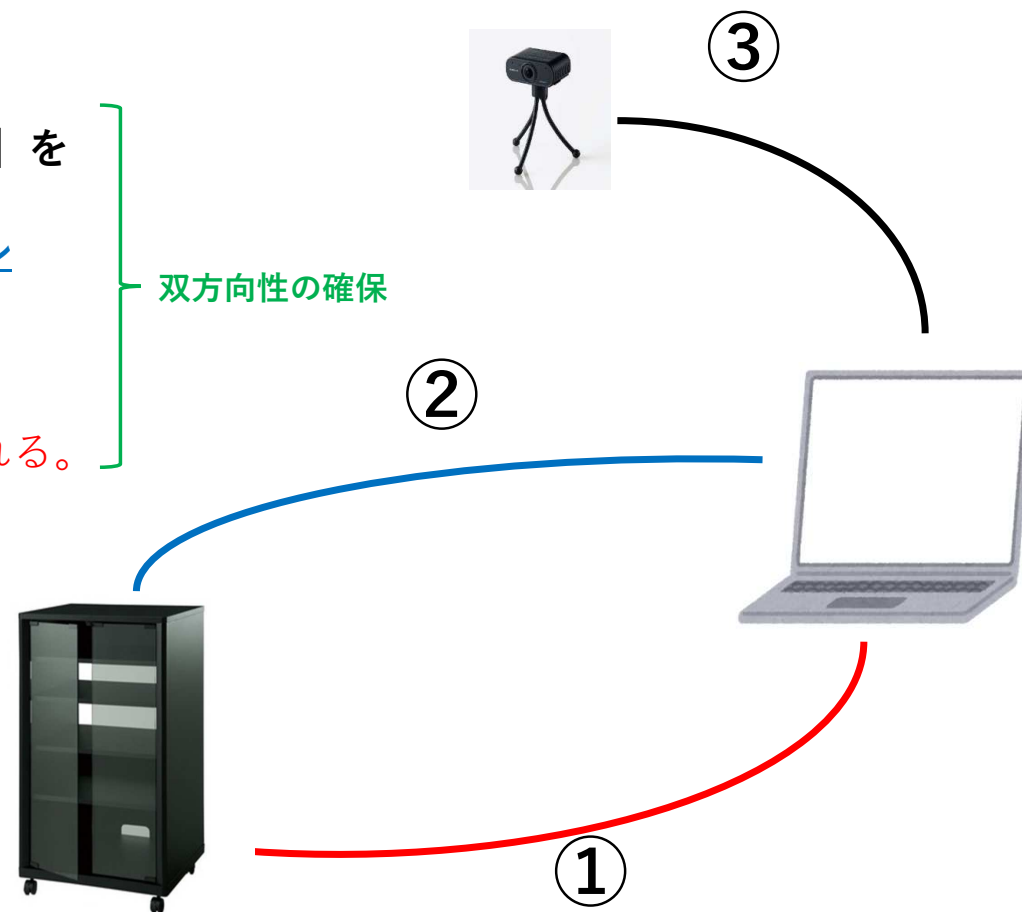
→オンライン受講学生の声が講義室スピーカーで流れる。

- ③ WebカメラとPCをつなぐ。

→板書画像をオンライン受講学生に送る。

パソコン内蔵のwebカメラでの代用も可能。

※必須ではありません



## 事前準備（1）

今回設置する講義室のAV機器状況

- 講義室用のマイク設備
- 持込みパソコン等接続端子



これしかありません。



## 事前準備（2）

必要なもの

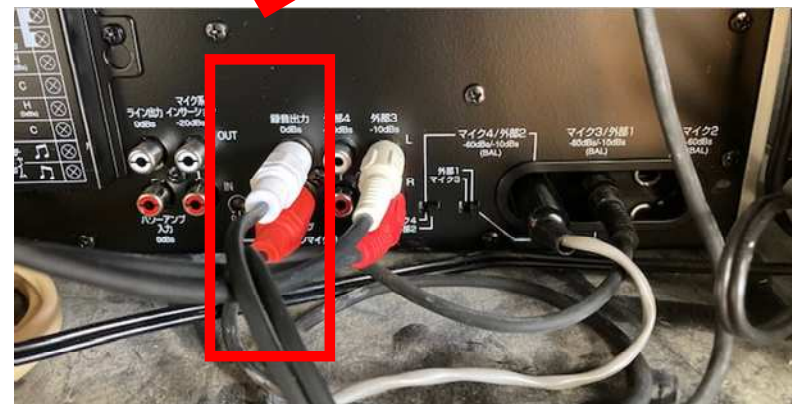
- 赤白音声端子→  
3.5mmミニプラグ変換  
ケーブル（1本）
- HDMIケーブル（1本）



## 事前準備（3）

AVラック内のアンプ背面にある【録音出力】端子に赤白→3.5mm変換ケーブルを接続します。

すでに別機器へのケーブルが刺さっている場合には、右のようなケーブルで分岐してください。

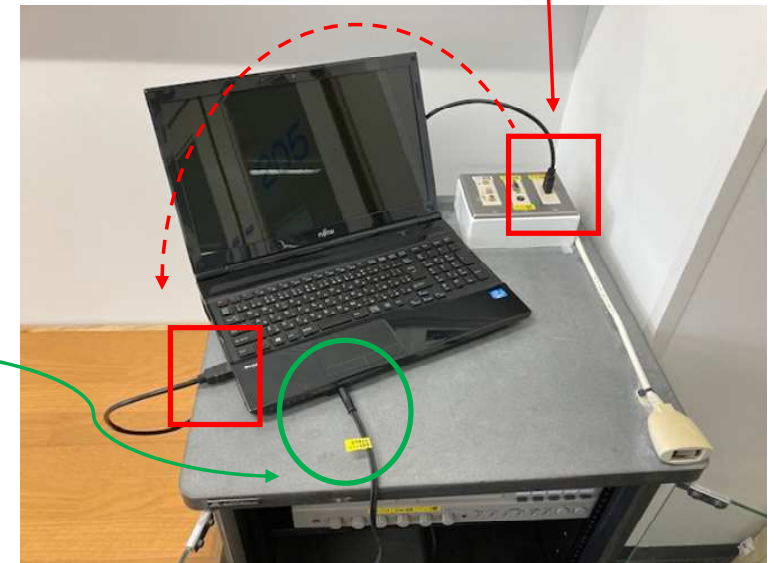
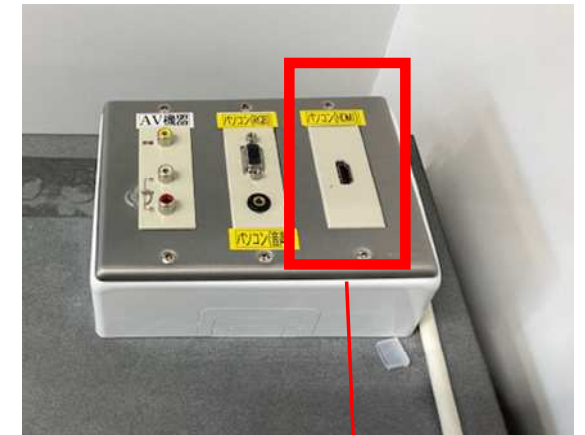


この手順書では、このケーブルに【講義室マイク音声配信用】とラベルを付けています。

## 講義時設営（1）

- AVラック内の【講義室マイク音声配信用】プラグをパソコンのマイク端子に接続。（緑）
- パソコンとAVラックをHDMIケーブルで接続。（赤）

これで完成♪





## 講義時設営（2）参考

- 板書を映す場合にはカメラを別途準備したほうが小回りが利くと思われます。



zoom側でカメラを切り替える必要があるかもしれません。  
適宜設定してください。



## 講義時設営（3）参考

- 講義室のスピーカーで音声を流す場合、zoom側でスピーカーを切り替える必要があるかもしれません。適宜設定してください。

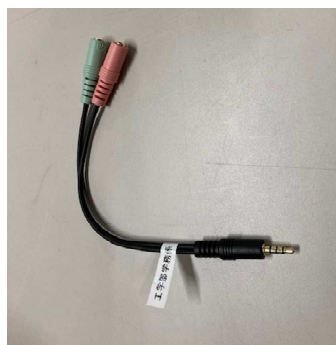




## 講義時設営（４）参考

- ▶ パソコンのイヤホン差込口の形状によりアダプターが必要となる場合があります。

イヤホン端子が1つしかない場合、イヤホン端子とマイク端子を分岐するケーブルが必要。



- ▶ イヤホンとマイクの差込口が別々の場合

【講義室マイク音声配信用】ラベルのプラグをPCの【マイク端子】にそのままさしてください。



- ▶ 差込口が1つしかない場合

【講義室マイク音声配信用】ラベルのプラグを画像のアダプターの赤（マイク側）にさした後、PCの差込口にさしてください。



## この設営によりできること（まとめ）

	講義室側		オンライン受講者側	
教員の発話	講義室のスピーカーで流れる	○	講義室のマイク音声がクリアにzoomにのる	○
学生の発話	zoomに音声をのせるためには、講義室マイクによる集音、マイクを共有するなどの対応が必要	△	zoomのマイク音声が講義室スピーカーに流れる	○
講義室の板書	目視	○	PC内蔵カメラまたはwebカメラ映像をzoomで画面共有する (画像の鮮明度、色彩、反射光等に課題あり)	△
講義室内スクリーン投影	目視	○	zoomの画面共有機能にて対応	○